

[研究名] 乳幼児健診でのオンライン情報提供によるアレルギー疾患有症率の変化に関する観察研究

[研究の背景]

日本では乳幼児健康診査(以下、乳幼児健診)が実施されています。乳幼児健診の目的は、子どもの成長発達の状態を明らかにし、疾病や行動異常の早期発見と保健指導による健康管理です。名古屋市でも全 16 行政区の保健センターで乳児健診が実施されています。名古屋市の健診ではアレルギー(の疑い)のあるお子さんの養育者を対象にして保健指導がされています。しかし、この保健指導を行うことで地域全体でのアレルギーの患者さんの人数が減少するかどうか研究されたことはありません。またアプリを介して保健指導の効果についても研究されたことはありません。

[研究の目的]

スマートフォンアプリ「なごや子育てアプリ NAGOMii(なごみー)」を介して乳児の養育者にアレルギーの情報提供を導入した地区で、幼児のアレルギー患者さんの人数が変化するかを評価します。

[研究の方法]

- 対象となる方: 名古屋市北区で 2022 年 6 月から 2023 年 5 月までに、3~4か月健診に参加された方。
- 研究期間: 2022 年 5 月から 2027 年 4 月
- 利用する情報: 1 歳 6 か月健診に参加した期間(2023 年 9 月~2024 年 8 月)と 3 歳健診に参加した期間(2025 年 3 月~2026 年 2 月)の名古屋市が算出した区別のアレルギー患者さんの数とその割合
- 情報の管理: 個人情報削除されたのち、研究代表者機関である名古屋医療センターにインターネットを介して提出され、解析が行われます。

[研究組織]

- 研究代表者(研究の全体の責任者):名古屋医療センター 二村 昌樹

- 共同研究機関:

名古屋市 環境局地域環境対策部公害保健課 保健事業係

乳幼児アレルギー実態把握等懇談会

伊藤浩明(あいち小児保健医療総合センター)、榎村春江(名古屋学芸大学管理栄養学部)、神岡直美(名古屋市立大学付属西部医療センター)、近藤康人(藤田医科大学総合アレルギーセンター)、杉浦至郎(あいち小児保健医療総合センター保健室)、中西里映子(アレルギー支援ネットワーク)、平光良充(名古屋市衛生研究所疫学情報部)、山口知香枝(名古屋市立大学大学院看護学研究科)

名古屋市 子ども青少年局子育て支援部子育て支援課 母子保健係

[個人情報の取扱い]

本研究では研究に参加された方を特定できる情報が完全に削除されたのちに、データファイルを名古屋市から取得します。情報は研究代表者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人が判別できるような情報は利用しません。

[相談窓口]

研究に関すること:名古屋市 環境局地域環境対策部公害保健課 保健事業係

乳幼児健診に関すること:名古屋市 子ども青少年局子育て支援部子育て支援課 母子保健係